

## 「夏休み少年野球キャンペーン」の入賞者が決定！ 日本数学検定協会がプレゼンターとして 表彰式で賞品を贈呈

「千葉ロッテマリーンズと学ぼう 算数マガジン」発行記念イベント



【総合部門】最優秀賞表彰の様子

公益財団法人日本数学検定協会(所在地：東京都台東区、理事長：清水 静海)は、2015年9月10日(木)にQVC マリンフィールドで開催された「夏休み少年野球キャンペーン」の表彰式にプレゼンターとして出席し、入賞者に賞品を贈呈いたしました。

### ■「千葉ロッテマリーンズと学ぼう 算数マガジン」とは

「千葉ロッテマリーンズと学ぼう 算数マガジン」(A5判16ページ、発行：株式会社城南進学研究社、監修：公益財団法人日本数学検定協会／株式会社千葉ロッテマリーンズ)とは、株式会社朝日新聞出版と一般社団法人日本文化教育推進機構が企画し2015年8月1日に発行した、小学生を対象とした野球で算数を学ぶ小冊子のミニドリルで、千葉県内の小学生の野球およびジュニアソフトボールチームや、QVC マリンフィールドに来場した小学生に配布されました。この小冊子は、算数の問題が野球の話題にからめて出題され、書き込みできるつくりになっています。当協会は、小学生が苦手とする、割合などを含めた野球に関する問題を千葉ロッテマリーンズと共同で監修いたしました。

## ■「夏休み少年野球キャンペーン」とは

「夏休み少年野球キャンペーン」とは、このミニドリルを活用し、夏休み中の学習に役立ててもらおうと企画されたキャンペーンで、ドリル内の応募用紙を使って自由研究などを行い、それを応募すると、優秀者などにQVC マリンフィールド内野指定席ペアチケットや、オリジナル軟式野球用グラブなどがプレゼントされるものです。

応募の部門は2つあり、総合部門は少年野球チームに所属している児童のみが応募できるもので、自分の試合成績を記入する「少年野球用 試合をして記録をつけよう」と、球場で見つけた数字を自由に記述する「QVC マリンフィールドで夏休み自由研究」の両方の応募が必須です。一般部門はどの児童でも応募でき、「QVC マリンフィールドで夏休み自由研究」のみで応募できるものです。

本キャンペーンの応募期間は、同年8月1日から31日までの1か月で、応募総数は291通でした。このたび、応募者のなかから、総合部門の最優秀賞1名と優秀賞5名、一般部門の入選5名が入賞者として、株式会社千葉ロッテマリーンズによって選出されました。

入賞者は以下のとおりです。

※かっこ内は所属する少年野球チーム名

### 《総合部門》

#### ●最優秀賞（賞状・オリジナル軟式野球用グラブ）

井谷 友克さん（三日月）

#### ●優秀賞（賞状・千葉ロッテマリーンズオリジナルグッズ）

安田 ゆきとさん（磯部シャークス）

安田 鴻希さん（磯部シャークス）

木田 愛海さん（千葉市リトルリーグ）

木田 大雅さん（千葉市リトルリーグ）

新田エンゼルス

※新田エンゼルスはチームで入賞

### 《一般部門》

#### ●入選（賞状・千葉ロッテマリーンズオリジナルグッズ）

いがらし ほのかさん

宇野 真仁朗さん

波崎 真衣さん

佐藤 宗太郎さん

大西 俐輝さん

入賞者は、2015年9月10日(木)にQVC マリンフィールドで行われた『日本数学検定協会「算数マガジン」スペシャルライター』オリックス・バファローズ戦の試合前に、同球場のボールパークステージで表彰されました。なお表彰式では、当協会の理事長・清水静海が入賞者に各賞品を贈呈いたしました。

当協会は、主たる公益事業である「実用数学技能検定(算数検定・数学検定)」の実施のほかに、今後も広く国民のみなさまに算数・数学を学習する大切さや、楽しさを伝える普及啓発事業を充実させていく所存です。

### 【イベント概要】

名 称：夏休み少年野球キャンペーン 表彰式  
主 催：株式会社千葉ロッテマリーンズ  
協 力：公益財団法人 日本数学検定協会  
開 催 日：2015年9月10日(木) 16:45~17:00  
開 催 場 所：QVC マリーンズフィールド ボールパークステージ (千葉県千葉市美浜区美浜1番地)  
サ イ ト：<http://dot.asahi.com/ad/150828/>

### 【実用数学技能検定について】

「実用数学技能検定」(後援=文部科学省)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。第1回を実施した1992年には5,500人だった受検者数は、2006年以降は年間30万人を超え、実用数学技能検定を実施する学校や教育機関も16,000団体を超えました。以来、累計受検者数は450万人を突破しており、いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。日本国内はもちろん、フィリピンやカンボジア、インドネシア、タイなどでも実施され(過去5年間でのべ20,000人以上)、海外でも高い評価を得ています。

※受検者数・実施校数はのべ数です。

### 【法人概要】

法 人 名：公益財団法人 日本数学検定協会  
所 在 地：〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階  
理 事 長：清水静海(帝京大学教育学部初等教育学科長・教授、公益社団法人日本数学教育学会名誉会長)

会 長： 甘利俊一(理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問、東京大学名誉教授)

設 立： 1999年7月15日

事業内容： (1) 数学に関する技能検定の実施、技能度の顕彰及びその証明書の発行  
(2) ビジネスにおける数学の検定及び研修等の実施  
(3) 数学に関する出版物の刊行及び情報の提供  
(4) 数学の普及啓発に関する事業  
(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

U R L： <http://www.su-gaku.net/>

※「数検」「数検／数学検定」「数検／Suken」は当協会に専用使用権が認められています。

### 【本イベントに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本文化教育推進機構

担当：市田、小野寺

T E L：03-3669-4251

F A X：03-3667-1807

E-mail：[nichibunkyo@ab.inbox.ne.jp](mailto:nichibunkyo@ab.inbox.ne.jp)

### 【実用数学技能検定に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本数学検定協会 広報宣伝部

T E L：03-5812-8342

F A X：03-5812-8346

E-mail：[kouhou@su-gaku.net](mailto:kouhou@su-gaku.net)



【総合部門】優秀賞表彰の様子



【一般部門】入選表彰の様子



表彰式後の記念撮影の様子



「算数マガジン」表紙

Marines 千葉ロッテマリーンズと学ぼう  
～打率を計算してみよう～

**打率の計算方法**  
**打率=安打数÷打数**

四捨五入は  
0～4の捨て  
5～9の場合は  
切り上げよう。

★打数は、打席数から四球、死球、犠打、犠飛、  
打撃妨害、定数妨害の数を除いたもの。  
敬失(エラー)は打数に含まれます。

**例**  
角中勝也選手の2014年の打数は451、  
安打数は125でした。打率を答えましょう。  
※小数第4位を四捨五入。

**式**  
 $125 \div 451 = 0.2771\dots$   
打率は四捨五入によって小数第3位までの概数を求めます。  
打率は0.277 となり、2割7分7厘と言います。

**問題.** 2014年の鈴木大地選手の打数は533、  
安打数は153でした。打率を答えましょう。  
※小数第4位を四捨五入。

**答え**                      答えはP.14

少年野球チームの巻へ。P.11～P.12の試合記録で打率を計算してみよう。

「算数マガジン」 中面 1

Marines 千葉ロッテマリーンズと学ぼう  
計算問題に挑戦①

しゅ しょ う へん  
**初級編**

角中勝也選手

**問1** スコアボードの空欄を記入しましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
0	0	0	0	0		0	0	0	2
0	1	1	0	0	2	0	0	x	

**問2** ( )に数字を書きましょう。  
プロ野球のピッチャープレートからホームベースまでの距離  
 $18.44\text{m} = ( )\text{cm} = ( )\text{mm}$

**問3** 千葉ロッテマリーンズは西武ライオンズと午後6時に  
試合を開始し、終了は午後9時15分でした。  
試合時間を求めましょう。

**答え**            **時間**            **分**

**問4** プロ野球で使うボールの重さは145gです。マーくんは  
5個のボールをリンちゃんにプレゼントしました。  
ボールの重さは合わせて何gでしょうか。

**答え**            **g**

「算数マガジン」 中面 2